

2019年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月10日

上場会社名 株式会社ティムコ
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 2019年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第2四半期の業績(2018年12月1日～2019年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第2四半期	1,522	3.6	38	37.5	41	35.8	26	42.5
2018年11月期第2四半期	1,578	7.7	61	655.7	65	599.2	46	411.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第2四半期	10.78	
2018年11月期第2四半期	18.73	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第2四半期	5,993	4,812	80.3	1,943.08
2018年11月期	5,890	4,819	81.8	1,945.88

(参考)自己資本 2019年11月期第2四半期 4,812百万円 2018年11月期 4,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期		0.00		12.00	12.00
2019年11月期		0.00			
2019年11月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,117	4.0	50	15.2	53	5.0	35	12.3	14.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年11月期2Q	3,339,995 株	2018年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	2019年11月期2Q	863,445 株	2018年11月期	863,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年11月期2Q	2,476,550 株	2018年11月期2Q	2,476,551 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、[添付資料] P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年11月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(自2018年12月1日 至2019年5月31日)における日本経済は、中国などの海外経済やIT関連需要の減速による影響が中小企業にも波及したことで、製造業を中心として景況感を下押しする形となりました。個人消費は、大型連休の特需などが消費の押し上げ要因となる一方で、日用品や衣料品などの販売が足踏み状態となるケースもみられました。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場とも、全般に消費の力強さを欠く展開となりました。

このような状況の中、当社では収益の増加に向けた取り組みを行ってまいりました。しかしながら、折からの消費の停滞や天候不順の影響を受け、当期の売上高は15億22百万円(前年同期比3.6%減)となりました。また、営業力強化に向けた取り組みのため、人件費や宣伝広告費等の経費が増加した影響も重なり、営業利益は38百万円(前年同期比37.5%減)、経常利益は41百万円(前年同期比35.8%減)、四半期純利益は26百万円(前年同期比42.5%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、暖冬傾向が釣行にプラスに作用する一方、ロッド(釣竿)やリールなどの高額品を中心とした消費が伸び悩み、特に3月以降は販売が低迷し苦戦をいたしました。

まず、ルアー用品に関しては、ルアー(擬似餌)の販売は堅調に推移したものの、ロッド(釣竿)等の高単価商品の販売が進まず売上高は低迷いたしました。また、フライ用品に関しては、シーズンに先行して早期実施した新製品投入や動画配信等のプロモーション効果により、売上高は堅調な立ち上がりを示しましたが、3月以降は河川の濁水の影響等もあり、販売が低調に推移いたしました。

その結果、当期におけるフィッシング事業の売上高は、4億91百万円(前年同期比9.2%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は70百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、前期の記録的な気温低下に比べて、当期は暖冬傾向となった反動も加わり、ジャケット等の防寒重衣料の販売が前期に比べ低調に推移いたしました。また、春夏物に関しては、インターネットを活用したプロモーションにも注力いたしましたが、春季における気温低下等の影響も加わり、全般に衣料品の消費が停滞いたしました。

その結果、当期におけるアウトドア事業の売上高は微減となり、10億14百万円(前年同期比0.7%減)となりました。また、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、セグメント利益(営業利益)は84百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当期に関しては、その他売上高は16百万円(前年同期比1.5%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は11百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億2百万円増加し59億93百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加36百万円、季節的な要因による商品の増加2億7百万円などの方で、現金及び預金の減少1億20百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億25百万円増加し、43億36百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産や無形固定資産の減価償却などによる減少18百万円や投資有価証券の減少6百万円などの影響により、前事業年度末に比べ23百万円減少し、16億56百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億9百万円増加し11億80百万円となりました。流動負債は、仕入が集中する季節的な要因により支払手形及び買掛金が1億41百万円増加したことなどの一方で、返品調整引当金の減少20百万円や未払消費税等の減少16百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億6百万円増加し、9億47百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加2百万円などの影響により、前事業年度末に比べ3百万円増加し2億33百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、48億12百万円となりました。これは主に、四半期純利益26百万円の発生的一方、前事業年度決算の配当支出29百万円やその他有価証券評価差額金の減少3百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億22百万円減少し、6億61百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、64百万円(前年同四半期の得られた資金は64百万円)となりました。これは主に、仕入債務の増加1億43百万円、税引前四半期純利益41百万円、減価償却費36百万円などによる資金の増加の一方、売上債権の増加36百万円、たな卸資産の増加2億8百万円、未払消費税等の減少18百万円、返品調整引当金の減少20百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18百万円(前年同四半期の得られた資金は87百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15百万円などによる資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、38百万円(前年同四半期の使用した資金は40百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算に係る配当金による支出29百万円とリース債務の返済による支出9百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年1月18日発表の「平成30年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,219,411	2,098,775
受取手形及び売掛金	556,029	592,708
商品	1,394,642	1,602,061
その他	43,307	45,443
貸倒引当金	△2,148	△1,991
流動資産合計	4,211,241	4,336,997
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	560,371	547,682
土地	653,376	653,376
その他(純額)	16,227	17,000
有形固定資産合計	1,229,975	1,218,059
無形固定資産	21,540	14,896
投資その他の資産	427,851	423,077
固定資産合計	1,679,367	1,656,032
資産合計	5,890,609	5,993,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	645,461	786,812
未払法人税等	27,610	30,396
返品調整引当金	32,533	11,788
賞与引当金	1,655	1,523
その他	134,322	117,270
流動負債合計	841,583	947,792
固定負債		
退職給付引当金	144,963	147,647
その他	84,986	85,444
固定負債合計	229,949	233,092
負債合計	1,071,533	1,180,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	341,087	338,054
自己株式	△478,034	△478,034
株主資本合計	4,804,500	4,801,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,575	10,677
評価・換算差額等合計	14,575	10,677
純資産合計	4,819,075	4,812,145
負債純資産合計	5,890,609	5,993,029

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年12月1日 至2018年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)
売上高	1,578,969	1,522,167
売上原価	859,103	825,696
売上総利益	719,866	696,470
返品調整引当金戻入額	27,576	32,533
返品調整引当金繰入額	13,781	11,788
差引売上総利益	733,660	717,215
販売費及び一般管理費	671,758	678,530
営業利益	61,902	38,685
営業外収益		
受取利息	612	780
受取配当金	573	655
為替差益	1,435	1,372
その他	571	311
営業外収益合計	3,192	3,119
営業外費用		
その他	37	6
営業外費用合計	37	6
経常利益	65,057	41,798
特別損失		
固定資産除却損	280	0
特別損失合計	280	0
税引前四半期純利益	64,777	41,798
法人税、住民税及び事業税	13,077	12,080
過年度法人税等	-	2,741
法人税等調整額	5,302	290
法人税等合計	18,380	15,112
四半期純利益	46,396	26,685

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年12月1日 至2018年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	64,777	41,798
減価償却費	34,538	36,554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,450	△157
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△13,794	△20,745
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△131
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,437	2,684
受取利息及び受取配当金	△1,185	△1,435
為替差損益(△は益)	263	414
固定資産除却損	280	0
売上債権の増減額(△は増加)	△88,723	△36,678
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,453	△208,081
仕入債務の増減額(△は減少)	154,787	143,963
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,045	△18,695
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,059	599
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,349	6,755
その他	△2,787	359
小計	77,355	△52,795
利息及び配当金の受取額	1,226	1,451
法人税等の支払額	△14,406	△13,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,175	△64,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,184,800	△1,188,400
定期預金の払戻による収入	1,186,000	1,186,600
有価証券の償還による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	△11,004	△15,858
無形固定資産の取得による支出	△370	△1,150
資産除去債務の履行による支出	△5,184	-
敷金及び保証金の差入による支出	△4,123	-
敷金及び保証金の回収による収入	6,834	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	87,352	△18,628
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10,866	△9,144
配当金の支払額	△29,459	△29,472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,326	△38,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	△263	△414
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	110,938	△122,436
現金及び現金同等物の期首残高	596,598	783,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	707,536	661,275

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	541,169	1,021,687	1,562,856	16,113	—	1,578,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	541,169	1,021,687	1,562,856	16,113	—	1,578,969
セグメント利益	86,408	91,236	177,644	11,351	△127,094	61,902

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益の調整額△127,094千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	491,188	1,014,625	1,505,814	16,353	—	1,522,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	491,188	1,014,625	1,505,814	16,353	—	1,522,167
セグメント利益	70,342	84,040	154,382	11,483	△127,180	38,685

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益の調整額△127,180千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。